

都民ファーストの会幹事長・東京都議の尾島紘平氏が炎上したそうですが正論だと思う。

尾島氏がインタビューでコメントされたことを転載します。

「石丸さんのおっしゃるように東京を弱体化させて地方が発展するというのは、そもそもそんなロジックはないと思うんですよ。それをやろうとする人が、しかも都知事になろうと出てくる。東京からお金を奪ってでも地元を潤わせるということを地方の首長（道府県知事・市区町村長）さんが言うのはいいんですけど、都知事がそういうことを言い出したら、東京の弱体化というのが本当に実現されてしまったら、この国は滅びるんじゃないかと私は思っています」

尾島紘平都議の仰る通りだと思う。

東京都は一都一道二府42県のうち唯一、地方交付税を貰っていない自立都市。日本は、自立できない地方が国から地方交付税をもらって、無駄な仕事を（箱もの行政）してきた。結果、財政赤字が増えすぎた。そこで小泉純一郎総理が「地方も自立を」と促した。それをにがにがしく思った共産脳が「地方切り捨てだ」とお得意の「なりすまし弱者論法」でタカリ続けようとした。

地方の首長が国へお金をクレクレと騒ぐならまだしも、石丸伸二氏が都知事になって東京を弱体化させてでも地方を潤わせるなんて異常思想では？

東京都一極集中では大地震などが起きた時にダメージが大きすぎるため、確かに分散は必要です。だからといって、人口の少ない地方自治体へお金を配って、東京都を弱体化させてでも、地方自治体を存続させるなんてあってはならないことです。

過疎の自治体を消滅させて自治体数を減らせば財政は合理的に回っていくはず。国も地方も感傷論で成り立つのではなく財政で成り立ってるのです。感傷論を捨てて、お金で割り切って考えましょう。削るべきところは削るのが「愛」。なんでもかんでも補助金クレクレと言うのはタカリ。

お金を出さない人間は口を出してはいけません。

石丸伸二さんに日本再生プランがあるなら、具体的な説明があるはずだがそれが無い。石丸伸二さんと対談したホリエモンは次々とアイデアがでてくるのは、日頃から日本再生を考えているからだと思う。（ちなみに私が考える日本再生は、まずは、行き過ぎた福祉費を大幅に削減すること。

今まで福祉の世話になってきた人はもういいでしょ！一体、幾ら貰えば気が済むの?!）

日本はずっと「行き過ぎた福祉施策」だったため、まずは、小泉純一郎総理が改革に着手された。一方、石丸伸二氏は東京都を弱体化させると言ったかと思うと、「地方から東京に出て行きさえすれば素敵な暮らしができると思ったら、そうではなかったというのが実態だと思う、東京へ出た人がそう思わないようにしないとイケない」と真逆のことを言い出す始末。思いつきで場当たりの

言ってる感がある。「東京を変えて日本を変える」と言ったって具体性がない。

小泉純一郎総理は「官から民へ、郵政民営化」というアピールと行動が一致していたし、群馬の山本一太知事も堰を切ったかのように話し出すのは、「強い思い」とか「憤懣やるかたない怒り」を抱えているからだと思う。

地方は、妬みと自惚れが強い人間がとても多く、優れている者を潰したがるだけでなく、いろいろと欲しがります。そういう要求に迎合する政治ではいけない。

これからは、コンパクトシティ化させ、ゾンビ企業・ゾンビ人間を切り捨てていかないといけない。近未来、ゾンビだって必要最低限のお金は貰えて（ベーシックインカム）、お金が無くても一日中楽しくゲームで遊べます（政府主導のムーンショット計画）

昨年、イタリアの妻がいる男性が AI 彼女と心中したほどだし、若い世代は AI 彼女を作る人が多いそう。それだけゲームは現実より楽しいことが多いらしい。幸せなら現実だろうがゲームだろうがどっちでも良いと思う。近未来、楽しいゲームが政府によって無料で与えられる時代が来るというのに、不毛な改革論は必要ないと思う。

民主党が政権を取ったのが14年前のこと。その後、民主党よりは自民党のほうが良かったということで自民党が与党に返り咲いた。その時と状況が似ている。貧困化からくる希望的観測が膨らむとネットでバズる人がでてくる。

ホリエモン・ひろゆきが石丸慎二氏を応援してるからといって安易にのっかるのは危険だと思う。

福島市矢剣町11-3 星野節子
024-563-7650
アメブロから『動物の繁殖は虐待』で検索を
<https://ameblo.jp/animal-police>